

幼年就学期部会 開催日：R1.8.23（金）

## 令和元年度 第2回 香南市人生支援計画 幼年就学期 部会報告書

（第1回部会及び第1回策定委員会で作された意見等の深堀りについて ほか）

## ◇部会委員 ◎部会長 ○副部会長

	役職	氏名	所属	出欠
1	◎	中脇 正人	野市小放課後子ども教室	出
2	○	武田 了子	夜須幼稚園 園長	出
3	◇	前田 真衣	香南市社会福祉協議会 職員	欠
4	◇	竹倉 美智	主任児童委員	出
5	◇	中元 啓恵	香南市教育委員	欠
6	◇	武田 和也	香南市PTA連絡協議会 会長	欠
7	◇	山崎 和佳子	香我美おれんじ保育所 保護者	出
8	◇	山下 英雄	城山高校 校長	欠
9	◇	藤川 尚司	香我美小学校 校長	出
10	◇	石井 真里奈	子育てサークル まざあぐらす	欠

## ◇事務局 ◎事務局長 ○副事務局長

	役職	氏名	課名	出欠
1	◎	前川 浩文	こども課	出
2	○	山本 昌伸	学校教育課	出
3	◇	山嶋 久代	こども課	出
4	◇	中屋 健一郎	〃	出
5	◇	近森 紳也	〃	出
6	◇	門脇 佐代子	学校教育課	出
7	◇	国松 士晃	生涯学習課	出
8	◇	朝倉 ちさ	健康対策課	出
9	◇	山上 奈津実	市民保険課	出
10	◇	田中 彰裕	人権課	出
11	◇	大石 久美	福祉事務所	出
12	総括	岡本 修	地域支援課	出
13	〃	久武 正和	〃	出

## ☆ 幼年就学期部会の開催内容

- ◎ 開会
- ◎ 挨拶
- ◎ 議事内容
  1. 香南市人生支援計画について  
地域支援課より説明
  2. 令和元年度第1回香南市人生支援計画策定委員会の報告について  
令和元年7月11日開催の第1回策定委員会に出席した部会長より報告
  3. 第1回部会及び第1回策定委員会で作された意見等の深堀りについて  
部会報告書及び策定委員会議事録をもとに「こどもと親の居場所づくり」について議論
  4. 保育料の無償化について  
こども課より説明
  5. その他
- ◎ 閉会

# 1. 「第1回部会及び第1回策定委員会で出された意見等の深掘りについて」 に対して出された意見

## ■外国人

### ○就労

- ・日本で働いている方が、本国からパートナーを呼び寄せた時にトラブルになっている。本人は就労のために日本語が話せるのでよいが、パートナーは日本語が話せない可能性も高く、女性であれば出産して子育てということになると、問題が出てくるのではないかとと思われる。

【地域支援課】⇒地域の代表の方と話をする中で、例えば農業の研修生であれば、研修生同士の交流はあるだろうが、地域の一員としての仲間意識であるとか、そういったつながりはないのではないかとと思われる。

【健康対策課】⇒健康対策課では、外国語の冊子を配布。

### ○人権

- ・学校の中では差別意識やヘイトスピーチといった問題に対して人権教育を行っているが、まだまだ一部の排外的な方がいると思われる。
- ・アジア系のハーフの子が親の出身国を言いたがらないということはある。近所でものがなくなったりしたら、外国人が疑われるということも未だにある。

【学校教育課】⇒教育現場の中では、西洋系のALTの先生と接する機会が増え、子どもたちも抵抗なくなってきていると思われる。一方でアジア系の方に対しては、少し下にみる傾向があるのではないと思うが、授業の中ではきちんとできている。

### ○コミュニティ活動

- ・国籍別に屋台を出すなどの多国籍イベントをやっているところもある。
- ・高知大農学部の学園祭では見かけるので、高知大と提携したイベントを企画してもよいのでは。
- ・お金もかけないような小さなイベントを毎月と年に一度多国籍屋台のイベントをやると結構人が集まってくれる。
- ・文化交流的に、小規模なものから、最初は市に音頭をとってもらってやれないか。

【地域支援課】⇒コミュニティや地域での交流などの部分は、また自治会等に打診していくようにする。

## ■公園

- ・香南市には公園が(少)ない。東京の方がずっとある。公園デビューできない。
- ・土地があって、石ころがなく、陰になる木があって、トイレがあればそれだけでもいい。
- ・体操ができるくらいの小さい公園はある。以前からずっと言われているが、みんなと一緒に遊ぶようなところはなく、特に野市町にはない。この辺の子どもたちは、アクランドか図書館に行っている。
- ・未就学児が行くのは、香南市ではヤ・シパーク、市外ではトリム公園(南国市)、秦山公園(香美市)。

【地域支援課】⇒県外の公園では子どもを遊ばせている外国人が多くみられ、言葉は通じなくても自分の子どもと一緒に遊んでいた。香南市にも公園があれば外国人の親子もコミュニケーションがとれるのではないと思う。⇒【建設課に繋ぐ】

## ■朝食摂取割合(3歳児)

- ・3歳児が朝食を摂っていない要因は。

【健康対策課】⇒親がお仕事をされていて朝が早いとか、朝食を作る間がないなど。

- 学校でも「早寝早起き朝ご飯」は推奨しているが、これだけライフスタイルがいろいろある中で「早寝早起き朝ご飯」ができないことを親だけのせいにするのもどうかと思う。
  - 食べた食べていないということだけではなく、なぜ食べていないのかを分析し施策につなげて人生支援を考えていかないといけない。親の勤務体系などが変わってきても、行政のサービス時間は変わらない、そこら辺に課題があるのではないか。
  - 働き方改革やフレックスタイム制に合わせた柔軟な対応をしていかないといけない。
  - まずは台所に立つ、包丁を持つ、という意識が必要。
  - 将来子どもを産み育てるとなると自分の身体だけではなく、子どもの成長も考えないといけないという意識付けを中学生くらいからしないといけない。
  - 食べてない子ども全部を対象にするとしんどくなるので、例えば3歳児の朝食にターゲットをしぼって、作り方を知らない親のためのプランニングを行う。
- 【健康対策課】⇒お昼は保育園で確実に食べている。晩ご飯はというと、最近は調理のできない親が増えてきており、スーパーのお総菜やコンビニで買ったものになっている。包丁を持つなどといった調理の機会や経験が少ない。健康対策課では、親になってからでは遅いので、親になる前からの指導としてパパママ教室での中身の検討をしている。

## 2. 「保育料の無償化について」に対して出された意見

### ■保育料の量と質

- 無償化のアンケートでは、反対意見が多かったと聞いている。香南市では現場の保育士は足りているのか。
- 【こども課】⇒保育士の資格を持たれている方がなかなか来てくれず、全然足りていない状況である。
- 保育士の資格は持っているが、結婚や出産などでしばらく離れていて、復帰できるようにあらかじめ登録しておく制度はないのか。
- 【こども課】⇒一度でも働いた経験のある方のリストはあって、足りない時に声をかけさせてもらっている。
- 資格のない人が見ているが、質的なものは大丈夫なのか。
- 【こども課】⇒無資格のパートさんに働いてもらっているのは事実。各所属で教育を行い、研修の機会も設けているが、質が十分かといわれるとそれはどうかと思う。また、免許を持たれている方に声をかけても、仕事のしんどさだけが残って、現場への復帰をためられる方が多い。働き方改革もあるので、現場へ戻ってきてもらえるように仕事の整理をしていくことも大事かなと思う。

### ■保育士の処遇

- 小さな子どもを扱うことへの責任や業務量への対価としての給料が安い。
- 香南市の保育士は子どもをよく見ていると思う。併せて資料の作成も行っているし、レベルは高いと思う。ただし、それに見合う報酬を支払っていかないと、良い人材が流れていってしまう。子どもを育てていく人なので、そこにお金を投入してほしいと思う。本来であれば、無償化の前に検討しないといけなかったのでは。
- 【こども課】⇒保育士が働きやすいように処遇の改善を行っていききたい。

## ■市独自の給食費の無償化

- あえて受益者負担の部分は残しておいたほうがいいのか。全てが無料というのはどうかと思う。小学校、中学校に上がったら給食費をとるのかということになる。
- 保育園、幼稚園で給食費を払ってないのに、小学校にあがると給食費がかかる、えっ！てなる親も多いと思う。

【こども課】⇒保育料の無償化に加えて3～5歳児の給食費を香南市独自で無償にしてはどうかという方向で考えている。市負担は約15,000千円。

- 就学前まで給食費が無償になることで、その後はどうするのか学校教育課は考えていることがあるのか。小学校に上がったからの整合性も十分検討しないといけないのではないかと思う。
- 一旦やりはじめたらやめますはないと思うが、人口を増やしたら受け皿も増やさないといけないということくれぐれも忘れないでほしい。将来的には小中学校もあおりを受ける。十分検証をしてほしい。子どもだけでなく親も転入してくるのであれば、働き口の問題もでてくる。

【学校教育課】⇒無償はあくまでも授業に関することのみで、給食費は考えていない。

- 南国市は自校炊飯方式をとっており、もともと給食費の単価は安い。給食センター方式をとっている香南市とは違う。無償化をするにしても、市民の受け取り方は違いがあると思う。高知市は、同規模であれば室戸市、土佐市、須崎市はどうか。
- 上手に広報していかないといけない。16市町村もあれば、香南市から出て行かれない努力も必要。

【こども課】⇒県内では16市町村が給食費の無償化を検討し、9月議会で諮る。近隣では、南国市は無償化。香美市及び高知市は無償化にしない。室戸市、安芸市は検討中。宿毛市、土佐清水市、町村はほとんどが無償化。

## 3 次回以降の部会で協議が必要な事項

### ■外国人就労や子育てに関する言葉に関すること。

- ⇒他にどんな問題があるのか。
- ⇒自治会で対応可能なことは何か。

### ■公園が少ない。(居場所として)

- ⇒大規模な公園が必要なのか。市内の位置関係とかの調整や管理者の問題がある。

### ■朝食摂取割合(3歳児)

- ⇒なぜ？食べていないのかを分析して施策につなげる必要がある。
- ⇒これまでの行政施策として、具体的なものがあるか。

### ■保育の受入体制

#### ○保育士の処遇

- ⇒保育士が働きやすいように処遇の改善策は具体的にがあるのか。

幼年就学期部会 開催日：R1.11.18（月）

## 令和元年度 第3回 香南市人生支援計画 幼年就学期 部会報告書

（令和元年度香南市人生支援計画の進捗状況（10月末実績）について ほか）

### ◇部会委員 ◎部会長 ○副部会長

	役職	氏名	所属	出欠
1	◎	中脇 正人	野市小放課後子ども教室	出
2	○	武田 了子	夜須幼稚園 園長	出
3	◇	前田 真衣	香南市社会福祉協議会 職員	出
4	◇	竹倉 美智	主任児童委員	出
5	◇	中元 啓恵	香南市教育委員	出
6	◇	武田 和也	香南市PTA連絡協議会 会長	欠
7	◇	山崎 和佳子	香我美おれんじ保育所 保護者	出
8	◇	山下 英雄	城山高校 校長	出
9	◇	藤川 尚司	香我美小学校 校長	欠
10	◇	石井 真里奈	子育てサークル まざあぐらす	欠

### ◇事務局 ◎事務局長 ○副事務局長

	役職	氏名	課名	出欠
1	◎	前川 浩文	こども課	出
2	○	山本 昌伸	学校教育課	出
3	◇	山嶋 久代	こども課	出
4	◇	近森 紳也	//	出
5	◇	門脇 佐代子	学校教育課	出
6	◇	山脇 智希	生涯学習課	出
7	◇	朝倉 ちさ	健康対策課	出
8	◇	山上 奈津実	市民保険課	出
9	◇	田中 彰裕	人権課	出
10	◇	大石 久美	福祉事務所	出
11	総括	岡本 修	地域支援課	出
12	//	久武 正和	//	出

### ☆ 幼年就学期部会の開催内容

◎ 開会

◎ 挨拶

◎ 議事内容

1. 第1、2回部会での意見等について

第1回及び第2回部会等が出された意見のまとめをもとにこども課より説明

2. 令和元年度香南市人生支援計画の進捗状況（10月末実績）について

KPI評価書をもとに各課より説明

3. 平成27年度からの総括について

香南市人生支援計画（平成27年度～令和元年度）の取り組み状況（案）をもとに地域支援課より説明

4. その他

◎ 閉会

## 1. 「第1、2回部会での意見等について」に対して出された意見

### ■外国人

- ・香南市に外国人実習生がどれくらい来ているか把握しているか。それぞれグループで交流はしていても、地域になじめない状況があるのではないか。
- 【こども課】⇒具体的な数字は持ち合わせていないが、農業実習生だけでなく、福祉関係にも来ている。
- ・以前に携わった中国帰国者の人権問題の中で、帰国者でかたまってしまってなかなか進まないということがあった。民間とのつながりということで交流づくりをとというのがあがるが、例えば人権フェスティバルで郷土料理の店などができれば地域ともつながりができ、進むのではないか。
- ・県外の事例だが、小中学校に行って国の紹介をしたりしている。コーディネーターがいると思うが、道徳授業の一環として異文化交流をしている。

### ■公園

- ・ガイドブック等で情報発信していくことも大事だとは思うが、今ある公園を大事にしてもらいたい。剪定は定期的に行っているが、遊具には使用できないテープが貼られたままになっているため、日中や放課後子供たちが使えない。特に、吉川町の公園はセアカゴケグモが出るので駆除もきちんとしてもらいたい。せっかく発信しても安全で安心できる場所であれば、子どもたちや公園デビューを考えている方は来られない。
- ・手入れのされていない田んぼや畑を公園にできないか。
- ・今の公園の維持管理をしっかりとしていただきたい。また、新しい公園の整備は予算の関係上難しいかもしれないが、検討してもらいたい。

### ■児童生徒の肥満傾向率（小学5年、中学2年）

- ・同じ人数で比較しているのか。
- 【学校教育課】⇒学校ごとにみると差はあるが、市全体で見ると極端な差はない。
- ・香我美小学校は、学年が違くと人数が倍くらい違うのが気になる。
- ・野市小学校だったらそんなに差はないが、全体でみてそんなに差がないのであれば。
- 【学校教育課】⇒多少の差はあるが、全体では極端な差はないと思う。

### ■不登校児童生徒の発生率（小学校、中学校）

- ・支援の必要な児童や家庭へのフォローに対する人は足りているのか。
- ・集団が苦手な子どもたちにとっては、学校に別室があるとないとは随分違う。別室担当の先生は現場でやりくりして支援している。
- ・見えないところで先生方も動いたり、現場では不登校の未然防止を必死にやっているが、数値化できないので伝わりにくい。数値としては出ないけれども、成果は上がっている。

### ■保育料無償化

- ・給与は有資格者と無資格者で差をつけたいとあるが、質の良さを保ちながらというのは、可能か。
- ・所属長の思いとすれば、有資格者と無資格者とでは、仕事の量や責任の重さに差がある。正規職員にウエイトがかかり過ぎているので、負担軽減を図るために雇用しているが、一定の差は必要だと思う。
- ・正規職員ではなくて、臨時やパート職員の有資格者の給与を上げることか。
- 【こども課】⇒総務課に要望をあげて検討をしてもらっている。

- ・同一労働同一賃金という考え方もある中で、資格があるからといって賃金に差をつけるのは、きちんと明確化されたものがないと同じ仕事をしている無資格者から不満が出てくる。

## 2. 「令和元年度香南市人生支援計画の進捗状況（10月末実績）について」 に対して出された意見

### ■No.5 育児教育相談利用者数

- ・具体的にどんな相談があるのか。相談が少なくなればいいものなのか。  
【こども課】⇒内容は確認していないが、未就学児の保護者は教育相談（こども相談室）、小中学生の保護者は、ほのぼの相談を利用していただいている。ほのぼの相談にはスクールカウンセラーが入っているが、子育てや気になっていることの相談であるため、学校は内容の把握をしていない。
- ・「障害がはっきりわかっていない、発達の違いがある子どもを持つ親として、医師からは年齢を重ねれば改善すると言われているが、実際子どもは大変な思いをしており、その対応を学校に求めても仕方ないが、どうしていいのかわからない。」といった苦悩を抱えている保護者への切れ目のない支援が必要ではないか。
- ・同じように困っている者同士が話せる場所があると違ってくるのではないか。
- ・他校通級や国が認めている巡回型の通級ができるとう厚くなる。

### ■No.16 夏休み子ども教室の開催

- ・夏休み子ども教室の開催の中に人気のある教室の開催とあるが、どのようなものか  
【生涯学習課】⇒毎年いろんなスポーツの大会を開催している、今年ならラグビーとか。こうなんスポーツクラブに委託している関係で、サッカーに力を入れているので回数は多い。
- ・公民館活動は載せていないのか。子ども対象の教室もあると思うが。  
【生涯学習課】⇒載せていない。夏休み教室を開催しているのが、野市・夜須・香我美の各公民館が企画し、野市で10～15回程度、募集したら応募が殺到して、すぐ締切になるものもあると聞いている。
- ・公民館で行われている教室も、子どもの居場所づくりになると思うので載せてはどうか。

## 3. 「平成27年度からの総括について」に対する意見

- ・今回のテーマは『子どもと親の居場所づくり』ということで人生支援計画の中、各部会で検討しているが、元をたせば『まち・ひと・しごと創生総合戦略』の一つとして位置づけられている。
- ・住みやすい、暮らしやすい香南市を目指すということで、移住者を呼び込み、出て行く人を減らすことで人口を増やしていくということが一番の目的である。
- ・この5年間で人口はどれだけ増えたのか。小さな部会の上には大きな計画があるということを念頭に置いて、軸がぶれることなく検討していかなければならない。

- 日本一住みやすいまちを目指して、ゆりかごから墓場まで、行政の力だけでなく地域の人々を巻き込んでやっていかなければならない。
- この5年間で細かいところまで見えてくるようになった。今まで見えなかったものが、たくさんの人の意見や声を拾い上げてきたことが大きいと思う。

## 4. その他

### ■情報発信

- LINEでの情報発信を提案したところ、今年度からできている。そういうところにも成果を感じる。  
【地域支援課】⇒ちなみに801人の友だちが登録されている。7月1日から運用を始めて『にこなん』にチラシを置いたり、各学校経由で保護者に配布したりしているが、今伸び悩んでいる。
- インスタのフォロワー数やフェイスブックはどうか。  
【地域支援課】⇒移住関係では、HPやフェイスブックが立ち上がっている。ふるさと納税は、インスタグラムとフェイスブックがあり、数は不明であるが、そこはリンクはしていない。
- 県外向けの情報発信も大事。のいち動物公園は、県外にCMを出している。  
【地域支援課】⇒外国人の対応も含めてKPIに具体的にどう生かしていくか、どう施策につなげていくのか、課題が残っている。

### ■全体まとめ

- 数字は大切だと思うが、数字に表れない子どもたちのために現場で頑張っている方たちやサポートしてくれる方たちがたくさんいる。
- 個人的には思いやりが大事だと思う。何をすれば幸せになれるのか想像力をもつことも必要。
- いろんな役割の人ができることをやり合うことで、結果的に香南市をよくしていける。香南市は住みやすいまちだと思っている。

## 5. 次回以降の部会で協議が必要な事項

### ■保育料無償化に伴う受入体制

⇒資格があるからといって賃金に差を付けるのに明確な示せるものがあるのか。

### ■外国人

⇒外国人の香南市内での受け入れ実態を一定明確化すること。

⇒ALT、CIRの導入を検討する必要があるのではないか。

### ■公園

⇒香南市内の公園の状況。管理の状態や地区管理の公園の数と場所は。公園マップ的なものを作成して周知すれば利用者も多くなる。

### ■育児教育相談利用者数（評価シート関連No.5）

⇒苦悩を抱えている保護者への切れ目のない支援策について検討し実現できないか。



■夏休み子ども教室の開催（評価シート関連No.16）

⇒数値内容が、夏休みの公民館での教室であったが、スポーツの数値を出してはどうか。

■情報発信

⇒LINE の友だち登録者数増加への今後の対策はあるか。

⇒外国人への対応策の現状（内容）と実際、対応策を早急に講じなければならない必要があるのかどうか協議等が必要。